

2019年度組織学会研究発表大会プログラム

1日目 6月1日(土) [午前：大学院生セッション 午後：研究発表セッション] (受付開始 9時20分より)

会場	会場A (90名)	会場B (90名)	会場C (144名)	会場D (144名)	会場E (150名)
教室名	202 種月館(3号館)2階	203 種月館(3号館)2階	205 種月館(3号館)2階	206 種月館(3号館)2階	211 種月館(3号館)2階
セッション	【大学院生セッション1】				
司会	尾田 基(東北学院大学)	福嶋 路(東北大学)	篠崎 香織(実践女子大学)	長瀬 勝彦(首都大学東京)	西野 和美(一橋大学)
9:50-10:10	1 [A1] 科学的知識の不定性下の技術革新 石川 雅敏(東京理科大学大学院)	[B1] 社内起業を生み出す組織文化のマネジメント -「失敗」という語句の使用法に注目して- 堀尾 征人(名古屋大学大学院)	[C1] 顧客対応の可視性と顧客エンゲージメント管理 -YouTube コメントデータを用いた実証分析- 青木 哲也(一橋大学大学院)	[D1] 歪んだ公正性認知 王 勝男(神戸大学大学院)	[E1] 車の保有効果の定量化に関する研究 池添 圭吾(東京工業大学大学院)
10:10-10:30	2 [A2] アーキテクチャ理論からみた技術世代変化への対応について -5Gにおける高周波設計の事例- 前田 篤志(筑波大学大学院)	[B2] 日本におけるビジネスジェット普及の可能性 -米国における都市圏飛行頻度に基づく検討- 中村 織雄(東京工業大学大学院)	[C2] アフターサービス重視の営業における店舗管理の研究に向けて 木田 世界(横浜国立大学大学院)	[D2] あいまい性と問題解決の視点が両立する組織の意思決定プロセス -地方自治体における働き方改革の事例分析- 水谷 浩之(筑波大学大学院)	[E2] 高等教育における学生の研究生産性に関する実証研究 -教員のアカデミックオリジンおよびキャリアパスの影響- 山田 愛(東京大学大学院)
休憩(10分)					
セッション	【大学院生セッション2】				
司会	大沼 雅也(横浜国立大学)	山口 隆英(兵庫県立大学)	寺畑 正英(東洋大学)	神吉 直人(追手門学院大学)	平本 健太(北海道大学)
10:40-11:00	3 [A3] 新技術の導入におけるユーザーと開発企業とのコミュニケーション-歩行支援ロボットの介護施設への導入を事例として- 東 史恵(専修大学大学院)	[B3] 下請けの現地化 -ホンダのベトナムオートバイ市場でのケーススタディー PHAM THI XUAN THO(一橋大学大学院)	[C3] 「日本的」制度が企業の外国人雇用態度に与える影響-「日本企業本社のグローバル化対応に関する調査」データから- 園田 薫(東京大学大学院)	[D3] 変革プロセスにおける計画的トップダウンと自発的行動 -日本交通株式会社 創発的組織変革- 遠藤 寛士(一橋大学大学院)	[E3] 独立行政法人のトップマネジメントと業績評価 下境 芳典(東北大学大学院)
11:00-11:20	4 [A4] 新技術の国際標準化組織の両利き理論による考察 -電気自動車(EV)の急速充電方式の標準化を事例として- 杉山 章(立教大学大学院)	[B4] 国際M&Aにおけるステータスと業績との関係 -日本企業によるIn-Out型M&Aの定量分析を通して- 鹿野 卓也(京都大学大学院)	[C4] 地方自治体における職員採用とインターンシップとの関連性 -雇用のミスマッチの視点から- 吉川 康明(東京理科大学大学院)	[D4] 関わりの中で育まれる事業 -3社の創業プロセスについての縦断的ケーススタディー 稲田 昂弘(東京大学大学院)	[E4] 組織環境の複雑性と組織過程の関係についての再検討 -複雑性の中の異質性と組織過程の関係性- 古木 雅人(青山学院大学大学院)
昼休み(11:20~12:40)					
セッション	【研究発表セッション1】				
会場	Information		会場C (144名)	会場D (144名)	会場E (150名)
教室名	Information		205 種月館(3号館)2階	206 種月館(3号館)2階	211 種月館(3号館)2階
司会	※1 組織学会・AAOMスペシャルセッション		清宮 徹(西南学院大学)	高橋 伸夫(東京大学)	※1
12:40-13:20	Asia Pacific Journal Management(APJM)誌のJane Lu編集長とCS Wong次期編集長による研究発表および質疑応答 司会進行:浅川和宏教授 (事前登録不要)		[C5] ワーク・ライフ・バランス・シートとその活用 -ワーク・ライフ・バランスの定量化および可視化- 田畑 智章(東海大学)	[D5] 製品デザインの結果と調整担当者の当事者意識に関する探索的研究 神吉 直人(追手門学院大学)	[F5] 知的財産活動と開発活動の活動過程はどのように異なるのか? -キヤノンのインクジェット技術開発過程の事例分析から- 赤間 愛理(東北大学大学院)
13:20-14:00	※2 特別講演 Hatch氏招聘は、駒澤大学経営学部創設50周年記念事業によるものです。『Hatch組織論』(Organization Theory)の著者として知られる、Mary Jo Hatch名誉教授(バージニア大学)にご講演いただきます。		[C6] 組織間移動を行なう企業内プロフェッショナルのキャリア・コンピテンシー -転職を重ねたCFOの語りから焦点をあてて- 北村 雅昭(大手前短期大学)	[D6] 模倣学習における習熟度と「抽象」「具体」の言葉の関係性 -NPS研究会による言及頻度分析- 伊藤 泰生(早稲田大学)* 遠藤 直樹(トヨタ自動車株式会社)	[F6] 資源動員の正当化プロセスへのユーザー参加 -JVCケンウッドとソニーの新製品開発におけるクラウドファンディング活用事例- 長内 厚(早稲田大学)* 宮本 達郎(早稲田大学大学院)
14:00-14:40			[C7] 処遇の公正性と従業員の時間的展望 -状況に調整される認知プロセス- 江夏 幾多郎(名古屋大学)	[D7] 組織文化は企業業績に直結する -味の素株式会社における過去10年間の組織文化と業績の関係解析- 渡部 乙比古(味の素株式会社)	[F7] 飛躍的な技術進化のプロセスとその論理 -船舶技術開発の事例研究による- 内海 京久(富士フイルム株式会社)
休憩・準備(10分)					
教室名	種月館(3号館) 2階 207				
14:50-16:00	※2 特別講演「物的構造と組織文化」 Mary Jo Hatch (バージニア大学 名誉教授) 司会:日野 健太(駒澤大学)				
休憩(10分)					
16:10-17:00	高宮賞授賞式・受賞者セッション				
準備(10分)					
17:10-17:30	評議員選挙				
17:30-18:10	会員総会				
移動(10分)					
会場	種月館(3号館) 1階 Kitchen駒膳				
18:20-20:00	懇親会				

MARY JO HATCH WILL COME TO SETAGAYA

The Academic Association for Organizational Science
June 1-2, 2019 Komazawa University, Tokyo

2019年
6月1日(土)・2日(日)
駒澤大学 駒沢キャンパス



大会参加費

	事前申込	当日受付
大会参加費(一般)	5,000円	6,000円
懇親会費	1,000円	4,000円
お弁当(6/2(日)のみ)	800円	ありません

・事前参加申込みは、大会専用ウェブサイト“Confit”(https://aaos.confite.atlas.jp/login)より行ってください。
なお、事前参加申込みは、クレジットカード支払のみとなります。(右上のQRコードもご利用ください)

・当日受付は現金支払のみ(金額が変わります)

※事前参加登録申込締切:2019年5月10日(金)

2日目 6月2日(日) [午前：研究発表セッション 午後：研究発表セッション/『組織科学』セッション] (受付開始 9時30分より)

会場	会場A (90名)	会場B (90名)	会場C (144名)	会場D (144名)	会場E (150名)	会場F (135名)	会場G (70名)
教室名	202 種月館(3号館)2階	203 種月館(3号館)2階	205 種月館(3号館)2階	206 種月館(3号館)2階	211 種月館(3号館)2階	212 種月館(3号館)2階	210 種月館(3号館)2階
セッション	【研究発表セッション2】						
司会	高木 朋代 (敬愛大学)	西村 友幸(小樽商科大学)	桑田 耕太郎(首都大学東京)	小野 善生(滋賀大学)	島本 実(一橋大学)	長山 宗広(駒澤大学)	大木 清弘(東京大学)
10:00-10:40	8 【A8】 組織メンバの協力に関する心理的障壁の評価 丸山 研二(久留米工業大学)	【B8】 カテゴリーとメンバーシップ 谷口 諒(早稲田大学)* 山口 翔太郎(メリランド大学大学院)	【C8】 大学改革のミスマネジメント・サイクルに関する制度論的分析 -和風シラバスと「PDCAサイクル」の普及課程の事例から- 佐藤 郁哉(同志社大学)	【D8】 風吹きやまぬ丘へと -研究開発(R&D)職場でリーダーになること- 鈴木 由秀(専修大学大学院)* 蔡 イン錫(専修大学)	【E8】 経営はアートかサイエンスか -Doc2Vecを用いた経営者のテキスト分析と分類- 小倉 勇人(早稲田大学大学院)	【F8】 デジタル時代の新潮流 -3Dプリンターにみる人材能力シフト- 渡部 順一(宮城学院女子大学)	【G8】 海外拠点における製品開発マネジメント -トヨタの米国開発における日本本社との連携- 石井 真一(大阪市立大学)
10:40-11:20	9 【A9】 視点置換と多様性がチームの創造的な成果に与える影響 竹田 陽子(首都大学東京)	【B9】 アイデンティティ形成と戦略実践のミクロレベルの相互作用 石谷 康人(高知工科大学)	【C9】 産学連携における科学の「分化」と「形態形成」 -医療品・医療機器産業を対象とした事例研究- 舟津 昌平(京都大学大学院)* 植山 泰生(京都大学)	【D9】 組織行動としての日本型と西洋型「リーダーシップ」: シャープ 戴社長と日産ゴーン元会長の「リーダーシップ」比較研究 中田 行彦(立命館アジア太平洋大学)	【E9】 科学か、美談か 蔡 イン錫(専修大学)	【F9】 イノベーションを事前視点から内生的に捉える分析枠組み -アクターネットワーク理論の翻訳の三側面- 入江 信一郎(京都工芸繊維大学)	【G9】 新興国製品イノベーションの成功要因に関する研究 -トヨタMVとエティオピアの比較分析を通して- 井上 隆一郎(桜美林大学)* 土屋 勉男(桜美林大学) 赤羽 洋(中央大学)
11:20-12:00	10 【A10】 特別扱い(idiosyncratic deals)の効果性の検証: 多項式回帰モデルによる「特別であること」と「扱い」の効果の弁別 服部 泰宏(神戸大学)	【B10】 組織スラックの内生性に関する考察 鈴木 修(関西学院大学)	【C10】 組織がいかに失敗から学習するか -答えがわからない失敗からの学習プロセスにおける課題と展望- 坂坂 啓介(早稲田大学大学院)* 伊藤 泰生(早稲田大学) 谷口 諒(早稲田大学) 村瀬 俊朗(早稲田大学)	【D10】 経営における禪 小野瀬 拓(駒澤大学)	【E10】 計画は役に立つのか? -試験勉強における計画錯誤- 長瀬 勝彦(首都大学東京)	【F10】 鐘淵紡績における工場経営 -1904年から1913年までの鐘紡資料をもとに- 松本 陽一(神戸大学)* 伊藤 宗彦(神戸大学)	【G10】 グローバル・ニッチトップ企業における競争優位の再生産 -日本とドイツ語圏企業の実態調査に基づく比較分析- 難波 正憲(立命館アジア太平洋大学)* 藤本 武士(立命館アジア太平洋大学)

昼休み(12:00~13:20)・坐禅体験(駒澤大学禅研究館4階坐禅堂)

セッション	【研究発表セッション3】						
司会	内野 崇 (一般社団法人 経営研究所)	二神 枝保(横浜国立大学)	加藤 厚海(広島大学)	佐藤 郁哉(同志社大学)	各務 洋子(駒澤大学)	『組織科学』セッション テクニカルセッション (13:20~14:20) 組織科学編集委員会幹事	中野 勉(青山学院大学)
13:20-14:00	11 【A11】 従業員定着に対する組織的要因と人事管理要因の影響 -京都市内宿泊施設を事例とした探索的分析- 柿沼 英樹(慶応大学)* 若林 直樹(京都大学) 山本 彰子(京都大学大学院)	【B11】 ラディカルな組織変革における研究の潮流に関する考察 古田 成志(中京学院大学)	【C11】 災害復旧の知識マネジメント -トヨタ・サプライヤーの復興事例- 岩尾 俊兵(明治学院大学)* 加藤 木綿美(二松学舎大学)	【D11】 ショップワーカー向け導入トレーニングの効果 -チェコのリーン生産システム採用組織における事例研究- 西脇 暢子(日本大学)* 大江 秋津(日本大学)	【E11】 情緒産業における価値創造 -コンテキスト文化の視座から- 武田 信夫(クラスメッド株式会社)	『組織科学』セッション 投稿プロセスセッション (14:20~15:20) 浅川 和宏 (慶應義塾大学) 三橋 平 氏(早稲田大学) 司会:山野井 順一(早稲田大学)	【G11】 組織間関係における対立・並立する価値のマネジメント -瀬戸市における都市環境の持続的発展の視点から- 亀倉 正彦(名古屋大学大学院)* 栗本 英和(名古屋大学)
14:00-14:40	12 【A12】 組織における沈黙と発言の規定要因: 心理的安全と沈黙動機の影響過程 藤村 まこと(福岡女学院大学)* 日野 健太(駒澤大学)	【B12】 企業内の世代間交流が高齢就業者の満足度に与える影響 -若年世代と共有する職場環境や雰囲気的重要性- 海上 泰生(日本政策金融公庫)	【C12】 グループ企業のガバナンス -アンケート・データによる分析- 青木 英孝(中央大学)	【D12】 技術移転アシエイトの役割 -上市条件の質的比較分析(QCA)- 林 侑輝(大阪市立大学大学院)* 坂井 貴行(神戸大学) 山田 仁一郎(大阪市立大学)	【E12】 企業のアート・フェスティバルへの協賛構造とメセナ行動の分析 -文化芸術立国のための企業ソーシャルキャピタル形成に向けて- 金光 淳(京都産業大学)		【G12】 取引関係における依存性と資源蓄積 -パワー格差と共同依存の探索的研究- 中本 龍市(九州大学)* 野口 寛樹(福島大学)
14:40-15:20	13 【A13】 心理的安全と創造性のメカニズムに関する研究 -援助要請と援助要請遅延を含む調整的媒介モデルの検証- 松下 智華(関西学院大学)* 藤井 智大(関西学院大学) 土屋 佑介(大阪産業大学) 王 勝男(神戸大学大学院)	【B13】 仕事経験の変容プロセスとしてのジョブ・クラフティング -心理的オーナーシップからのアプローチ- 高尾 義明(首都大学東京)	【C13】 ファミリービジネスは誰のものか? -Berle & Means(1932)と Jensen & Meckling(1976)再考- 後藤 俊夫(日本経済大学)	【D13】 見えざる防衛メカニズム -サメと泳ぐ起業家の戦略についての質的研究- 羽田 祥子(京都大学大学院)* 植山 泰生(京都大学)	【E13】 科学者の移動と知識伝承行動 -物理学者データをを用いた定量分析- 中山 亮彰(一橋大学大学院)		【G13】 アライアンスを成功させる組織能力の構築 -知識マネジメントが果たす役割の分析- 安田 洋史(青山学院大学)

駒澤大学といえば禅!

坐禅体験

駒澤大学は1592年(文禄元年)に設立された吉祥寺の「学林」に起源があります。

2019年度組織学会研究発表大会ご参加の皆様への特別企画として坐禅体験をご用意いたしました。

この機会に駒澤大学の坐禅をぜひご体験ください。

日時: 6月2日(日) 12:00~13:20
場所: 駒澤大学禅研究館4階坐禅堂

坐禅指導: 駒澤大学仏教学部教授 晴山 俊英

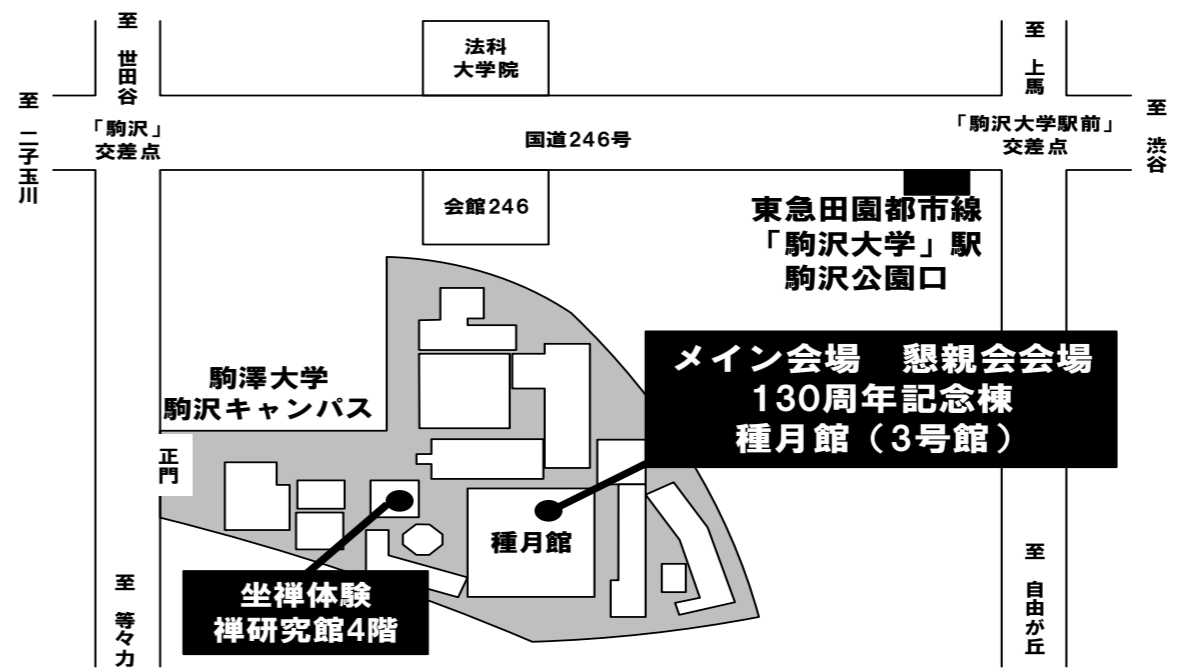
参加資格
坐禅体験の事前参加申込(Web)をされた方のみ。

警策は希望者のみ
希望しない限り叩かれませんが安心を!



<注意事項>

- ・4階までは階段をお使いください。エレベーターはございません。
- ・ジーンズやタイトなズボンには避けてください。
- ・フード付きのパーカー、スエット、ジャージの類はご遠慮ください。
- ・ミニスカート・タイトスカートを避け、ストッキング等の着用はお控えください。
- ・できましたら、襟付きのシャツを着用してください(ジャケット着用であればよい)
- ・時計、ピアス・イヤリング・ネックレス等のアクセサリは外してください。
- ・会場では、携帯・スマホの電源を切り、貴重品はロッカーにしまってください。



駒澤大学駒沢キャンパス

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

東急田園都市線「駒沢大学」駅下車「渋谷」駅より約7分(準急または各駅停車をご利用ください)

※ 宿泊先は東急田園都市線・半蔵門線沿線が便利です。満室になりやすいのでお早めにご予約ください。